

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|----------------------|
| 建物名称 | (仮称)稲毛海岸プロジェクト 新築工事 | 階数 | 地上9F |
| 建設地 | 千葉県千葉市美浜区高洲三丁目20番20 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 商業地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 300 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 物販店,集合住宅, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2024年3月 予定 | 評価の実施日 | 2022年11月11日 |
| 敷地面積 | 732 m ² | 作成者 | 新日本建設㈱一級建築士事務所 宇津見 聡 |
| 建築面積 | 465 m ² | 確認日 | 2022年11月11日 |
| 延床面積 | 3,489 m ² | 確認者 | 新日本建設㈱一級建築士事務所 宇津見 聡 |

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|------------------|--|--|
| 総合 | 稲毛海岸駅ロータリーに面するファサードは景観にふさわしいデザインとした。建物をできる限り後退させて歩道状空地を設け、外壁は周辺地域との調和に努めた。マリオンによって壁面の均一感をなくし、ガラスや外壁の仕上げと合わせて立面の構成を軽快にした。 | その他 |
| Q1 室内環境 | 専有部分について、T-2仕様のサッシを採用し、断熱等性能等級4超としている。また、F★★★★の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。 | Q2 サービス性能 |
| LR1 エネルギー | 断熱等性能等級4超、BEI=0.69としている。 | Q3 室外環境(敷地内) |
| | | 特になし |
| | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
| | LGS下地やノンフロンの断熱材を採用している。 | ライフサイクルCO ₂ 排出率83%とし、光害抑制に配慮している。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される